

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	日本思想史	
科目基礎情報							
科目番号	0148			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	材料工学科(2016年度以前入学生)			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	講義中に資料（講義ノート、史料）を配布する。参考図書などは講義中に紹介する。漢和辞典を必ず持参すること。						
担当教員	江島 孝則						
到達目標							
日本人の思考方法の特色を知る。 日本思想と文化の領域を学ぶ。 日本人の多様な思想と文化活動を知る。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		日本人の思考方法の特色に理解を深められた。		日本人の思考方法の特色を知ることができた。		日本人のお思考方法の特色を理解できなかった。	
評価項目2		日本思想と文化の領域について高い理解が得られた。		日本思想と文化の領域について理解ができた。		日本思想と文化の領域について理解ができなかった。	
評価項目3		日本の思想や文化の多様性について理解を深められた。		日本の思想や文化の多様性について理お買いできた。		日本の思想や文化の多様性について理解できなかった。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		日本思想について日本人の文化活動に考察することが目的である。 今回は儒学思想に焦点を当て、儒学思想が日本でどのように展開したのか講義する。 特に久留米藩の儒者合原窓南を取り上げ、江戸時代の儒者の思想について主に扱う。					
授業の進め方・方法		配布した資料をもとに講義を進めていく。 講義中に発言を求める場合は、自分の意見を積極的に述べるようにすること。 何事にも興味を持ち、探究する心を忘れないようにすること。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	日本思想とは				
		2週	儒教の思想①				
		3週	儒学の思想②				
		4週	日本儒教史①				
		5週	日本儒教史②				
		6週	江戸の朱子学				
		7週	山崎闇斎学派				
		8週	久留米藩と合原窓南				
	2ndQ	9週	『古語假字講義』を読む①				
		10週	『古語假字講義』を読む②				
		11週	『古語假字講義』を読む③				
		12週	『古語假字講義』を読む④				
		13週	『古語假字講義』を読む⑤				
		14週	『古語假字講義』を読む⑥				
		15週	『古語假字講義』を読む⑦				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地歴	産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。	2		
				人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観観点から理解できる。	2		
				社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	2		
				日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。	2		
				国家間や国家内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。	1		
				文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。	2		
		公民	哲学者の思想に触れ、人間とはどのような存在と考えられてきたかについて理解できる。	2			
			諸思想や諸宗教において、自分が人としていかに生きるべきと考えられてきたかについて理解できる。	2			

				諸思想や諸宗教において、好ましい社会と人間のかかわり方についてどのように考えられてきたかを理解できる。	2	
				民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。	2	
				資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できる。	2	
				現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	2	
			地歴・公民	現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について理解できる。	1	
				社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方についての様々な考え方について理解できる。	2	
				今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。	2	
				環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題といった地球的諸課題とその背景について理解できる。	2	
				国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	10	10	10	0	10	100
基礎的能力	60	10	10	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0